

## 第 3 2 回 中小企業景況調査 (平成 24 年 1 月 3 月)

### 《調査結果の要約》

中小企業の業況は、引き続き改善しつつあります。

- ・全業種の業況判断 D I は、前期のマイナスからプラスに転換しました。( 16.1 +8.5 )
- ・業種別にみると、以下のとおりです。  
3 カ月前から好転 : 製造業、建設業、飲食業、小売業 (買回品)、サービス業  
3 カ月前から悪化 : 小売業 (最寄品)

1. 全業種の業況判断 D I は、+8.5 (3 カ月前と比べ +24.6 ポイント) とマイナスからプラスに大きく改善しました。
2. 設備投資件数は、20 件 (3 カ月前と比べ 3 件増加) となりました。内訳の上位は、建物 7 件、O A 機器 5 件、車両運搬具 5 件です。
3. 経営上の問題点 (回答社数に対する比率) は、 需要の停滞 : 58% (3 カ月前と比べ +6 ポイント) (68 社) 販売単価の低下・上昇難 : 29% (3 カ月前と比べ +1 ポイント) (34 社) 利用者ニーズの変化 : 27% (3 カ月前と比べ +3 ポイント) (32 社) の順です。

### 中小企業の景況トピックス

- ・国内全産業の業況判断 D I は、 24.2 (3 カ月前と比べ +0.1 ポイント) となり、わずかにマイナス幅が縮小しました。業種別には、製造業は 19.0 (3 カ月前と比べ +1.0 ポイント)、非製造業は 26.3 (3 カ月前と比べ 0.3 ポイント) となりました。
- ・神奈川県全産業の業況判断 D I は、 45.0 (3 カ月前と比べ 0.3 ポイント) とわずかにマイナス幅が拡大しました。業種別には、製造業は 28.4 (3 カ月前と比べ 1.0 ポイント)、建設業が 39.4 (3 カ月前と比べ +7.1 ポイント)、商業・サービス業が 57.9 (3 カ月前と比べ 2.2 ポイント) となりました。

\* 国内は、独立行政法人 中小企業基盤整備機構、神奈川県は財団法人 神奈川産業振興センターの調査報告書から抜粋

## 《調査要領》

1. 調査時点：平成24年4月現在
2. 調査対象：鎌倉市内の中小企業、特に小規模企業（製造業・建設業・小売業（最寄品）・小売業（買回品）・飲食業・サービス業）の中から150企業を抽出しました。

	製造業	建設業	小売業		飲食業	サービス業	合計
			最寄品	買回品			
調査件数	15	15	23	30	37	30	150
回答数	10	12	20	26	27	22	117
回答率	66.7%	80.0%	87.0%	86.7%	73.0%	73.3%	78.0%

3. 調査方法：郵送によるアンケート方式（一部経営指導員による聞き取り）

4. 調査項目

- (1). DIの状況について  
自社の業況 売上額 資金繰り 採算 従業員数
- (2). 設備投資について
- (3). 経営上の問題点について

5. 調査データについて

- (1). DI：Diffusion Index(ディフュージョンインデックス・景気動向指数)の略。  
各調査項目について、「増加」・「好転」したなどとする企業割合から「減少」・「悪化」したなどとする企業割合を差引いた数値で、企業の景況感の判断に使用する指数。
- (2). データは当該期間（四半期ごと）と、その前年同期および向こう3ヵ月の見通しを対比したものです。
  - ・四半期；1年の4分の1、すなわち「3ヵ月間」
  - ・前期比；3ヵ月前との比較
  - ・前年同期比；1年前との比較

< DI計算例 >

「やや増加」・「やや好転」50% 「変わらず」20% 「やや悪化」・「やや減少」30%  
の場合、次のような計算になります。

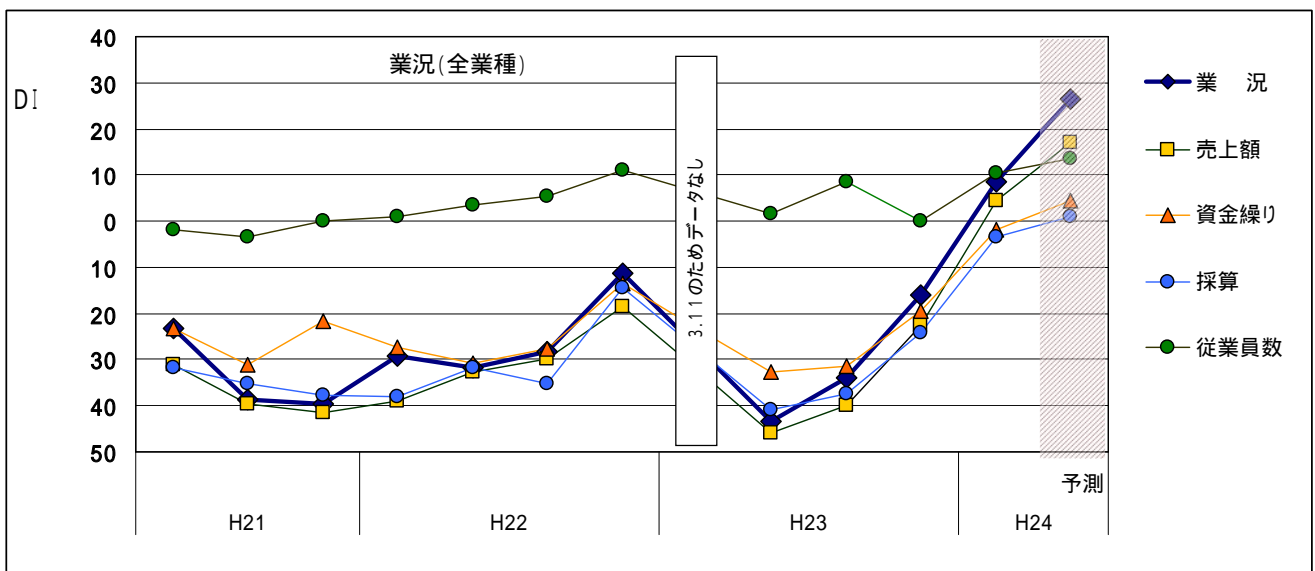
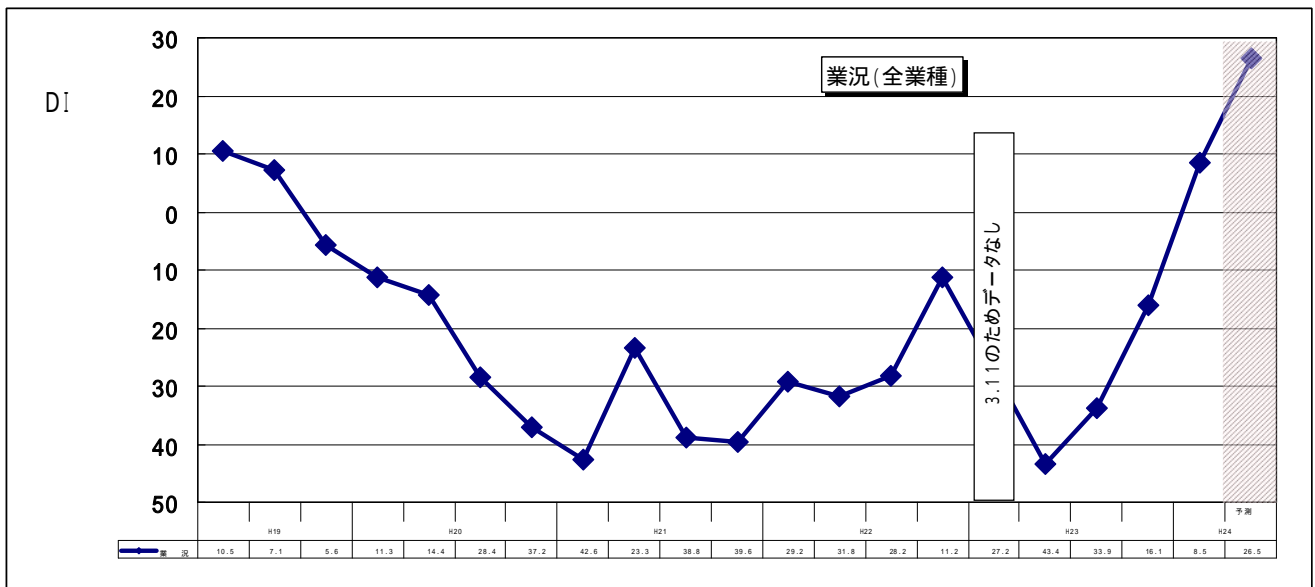
$$\begin{aligned}DI &= 50 - 30 \\ &= 20\end{aligned}$$

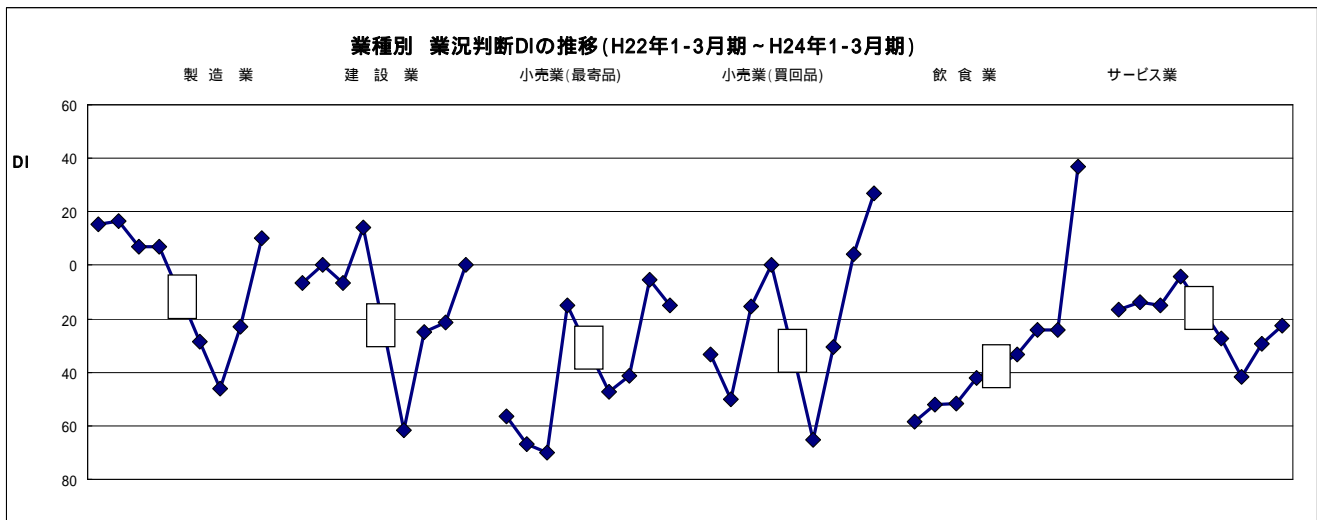
## 《調査結果》

### ・全業種

#### 業況 DI

- ・全業種の業況判断 DI は +8.5（前期比 +24.6 ポイント）とマイナスからプラスに大きく改善し、3 ヶ月先は +26.5 と改善の見通しです。
  - ・売上 DI は +4.3（前期比 +26.9 ポイント）とマイナスからプラスに大きく改善し、3 ヶ月先は +17.1 と改善の見通しです。
  - ・資金繰り DI は 1.7（前期比 +17.7 ポイント）とマイナス幅が縮小し、3 ヶ月先は +4.3 と改善の見通しです。
  - ・採算 DI は 3.4（前期比 +20.8 ポイント）とマイナス幅が大きく縮小し、3 ヶ月先は +0.9 と改善の見通しです。
  - ・従業員数 DI は +10.3（前期比 +10.3 ポイント）と人手不足感が生じ、3 ヶ月先は +13.7 と人手不足感が拡大する見通しです。
- ・業種別の業況判断 DI は、製造業、サービス業、建設業、小売業（買回品）、飲食業でマイナス幅が縮小、またはプラスに転換しましたが、小売業（最寄品）は悪化しました。





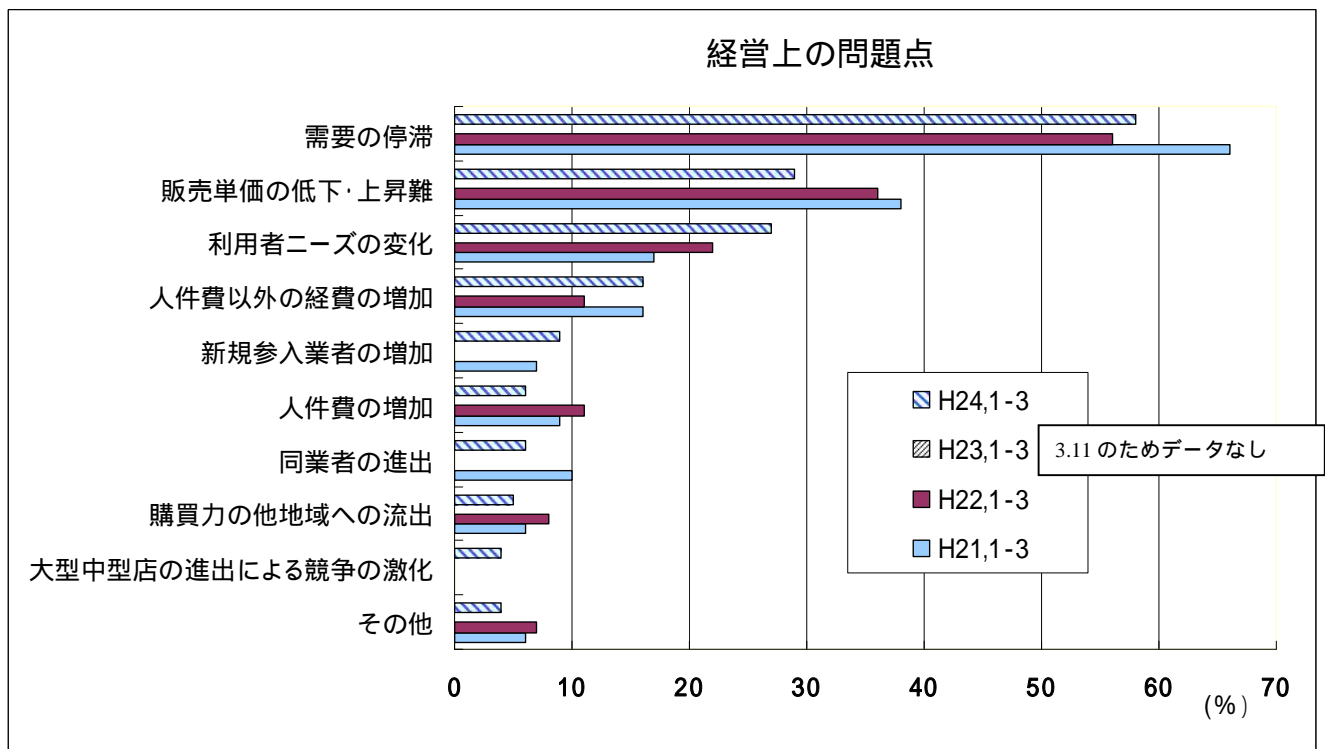
3.11 のためデータなし

### 設備投資の動向

- ・設備投資件数は、20 件(3 カ月前から 3 件増加)となりました。内訳の上位は、建物 7 件、OA 機器 5 件、車両運搬具 5 件です。

### 経営上の問題点

- ・経営上の問題点は、 需要の停滞：58% (68 社) 販売単価の低下・上昇難：29% (34 社) 利用者ニーズの変化：27% (32 社) の順です。

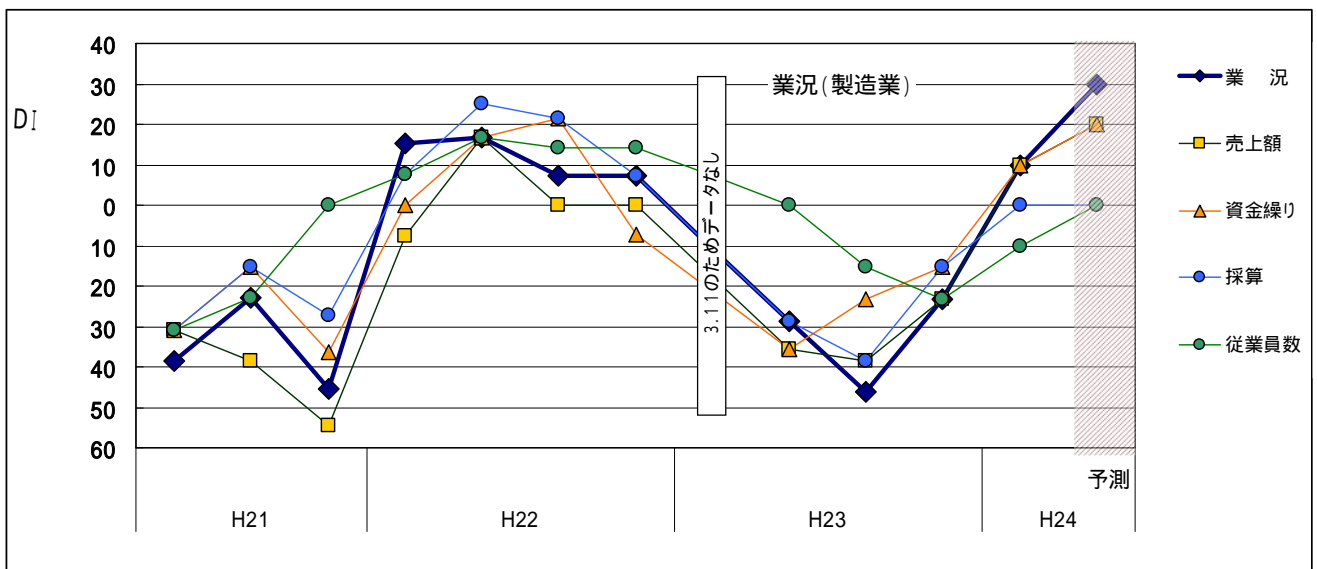


業種別

1. 製造業

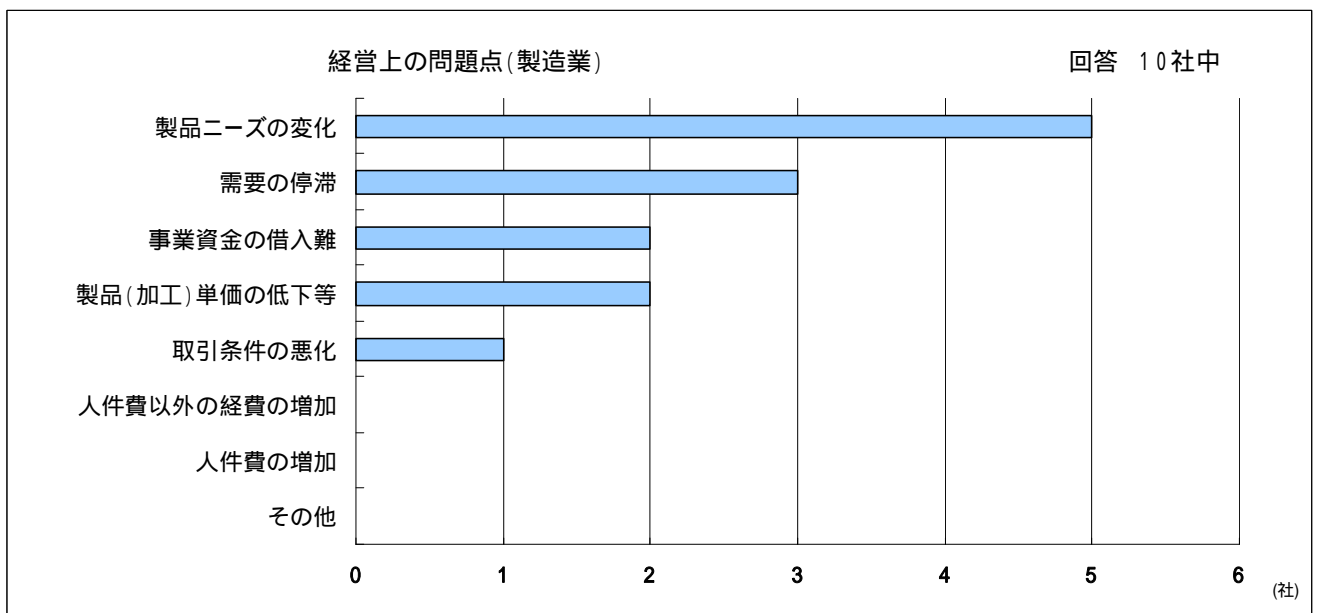
業況 DI

- ・業況判断 DI は +10.0 (前期比 +33.1 ポイント) とマイナスからプラスに大きく改善し、3 ヶ月先は +30.0 と改善の見通しです。
- ・売上 DI は +10.0 (前期比 +33.1 ポイント) とマイナスからプラスに大きく改善し、3 ヶ月先は +20.0 と改善の見通しです。
- ・資金繰り DI は +10.0 (前期比 +25.4 ポイント) とマイナスからプラスに大きく改善し、3 ヶ月先は +20.0 と改善の見通しです。
- ・採算 DI は ±0 (前期比 +15.4 ポイント) とマイナス幅が縮小し、3 ヶ月先は ±0 と横ばいの見通しです。
- ・従業員数 DI は -10.0 (前期比 +13.1 ポイント) と人手過剰感が縮小し、3 ヶ月先は ±0 と過剰感がなくなる見通しです。



設備投資の動向 設備投資件数は機械設備 1 件、建物 1 件です。

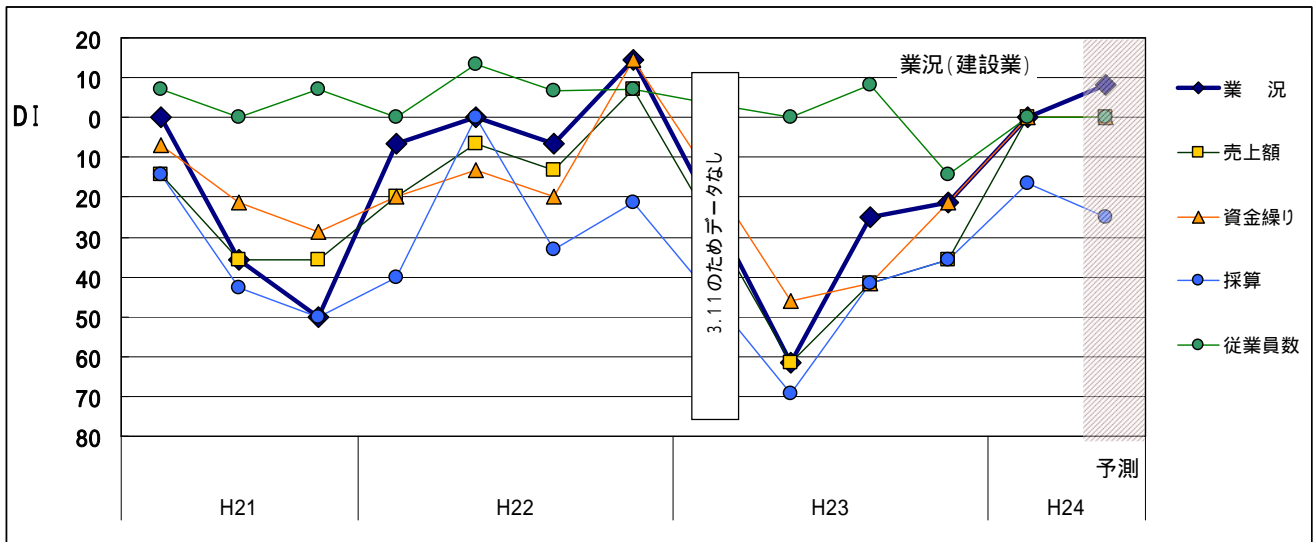
経営上の問題点



## 2. 建設業

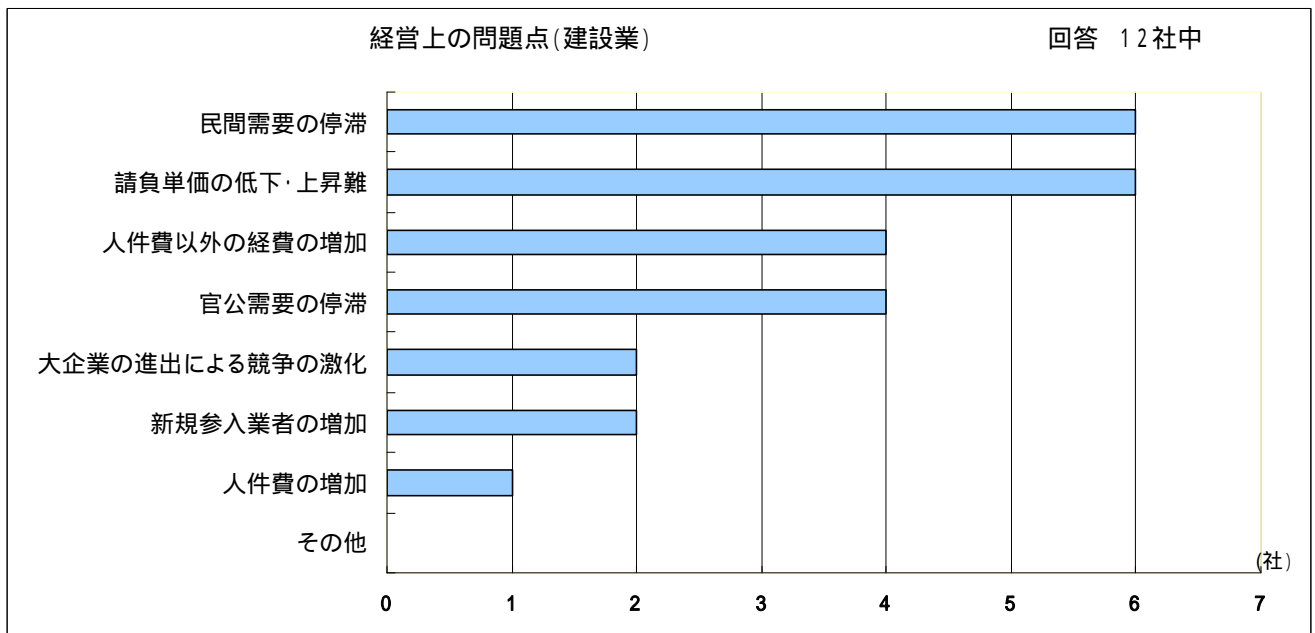
### 業況 DI

- ・業況判断 DI は±0 (前期比+21.4 ポイント) とマイナス幅が大きく縮小し、3 カ月先は+8.3 と改善の見通しです。
- ・売上 DI は±0 (前期比+35.7 ポイント) とマイナス幅が大きく縮小し、3 カ月先は±0 と横ばいの見通しです。
- ・資金繰り DI は±0 (前期比+21.4 ポイント) とマイナス幅が大きく縮小し、3 カ月先は±0 と横ばいの見通しです。
- ・採算 DI は 16.7 (前期比+19.0 ポイント) とマイナス幅が縮小し、3 カ月先は 25.0 と悪化の見通しです。
- ・従業員数 DI は±0 (前期比+14.3 ポイント) と人手過剰感がなくなり、3 カ月先は±0 と横ばいの見通しです。



設備投資の動向 設備投資件数は車両運搬具 2 件、建物 1 件です。

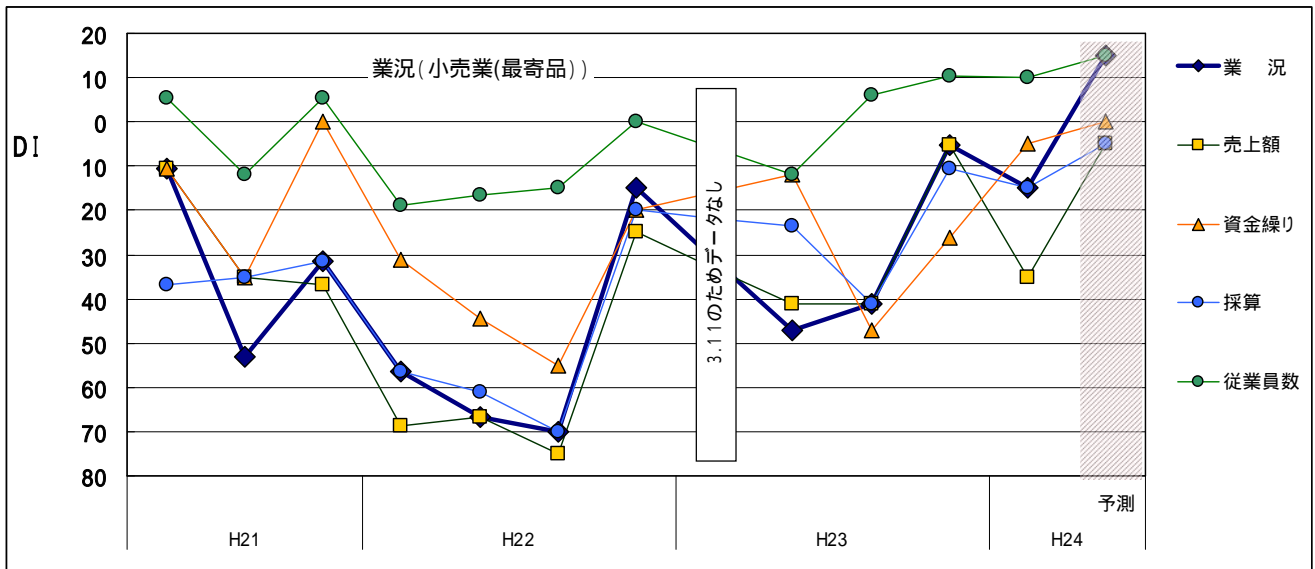
### 経営上の問題点



### 3. 小売業（最寄品）

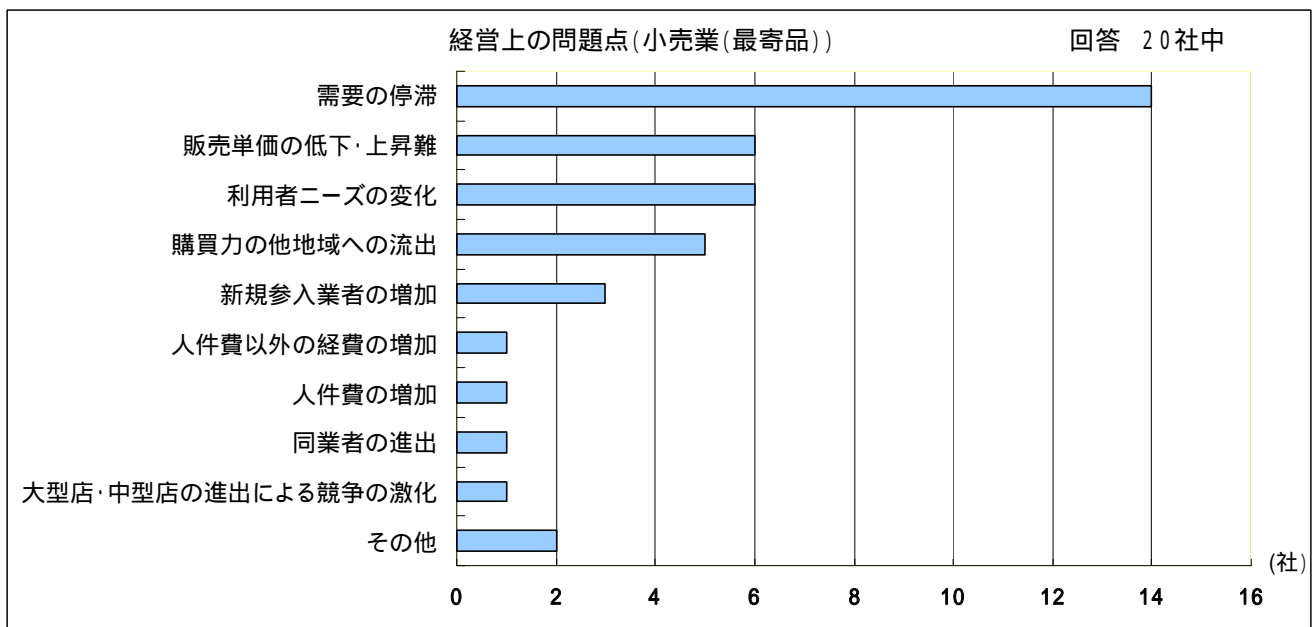
#### 業況 DI

- ・業況判断 DI は 15.0（前期比 9.7 ポイント）とマイナス幅が拡大し、3 カ月先は +15.0 と改善の見通しです。
- ・売上 DI は 35.0（前期比 29.7 ポイント）とマイナス幅が大きく拡大し、3 カ月先は 5.0 と改善の見通しです。
- ・資金繰り DI は 5.0（前期比 +21.3 ポイント）とマイナス幅が大きく縮小し、3 カ月先は ±0 と改善の見通しです。
- ・採算 DI は 15.0（前期比 4.5 ポイント）とわずかにマイナス幅が拡大し、3 カ月先は 5.0 と改善の見通しです。
- ・従業員 DI は +10.0（前期比 0.5 ポイント）とわずかに人手不足感が縮小し、3 カ月先は +15.0 と不足感が拡大する見通しです。



設備投資の動向 設備投資件数は建物 2 件、O A 機器と車両運搬具各 1 件です。

#### 経営上の問題点



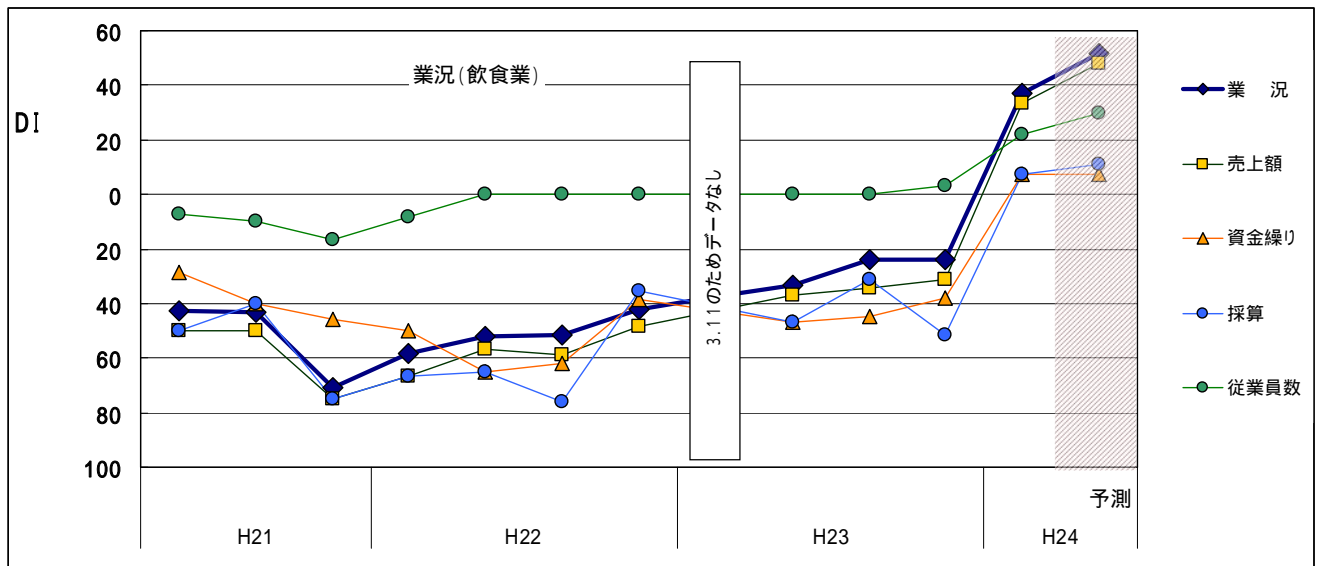




## 5. 飲食業

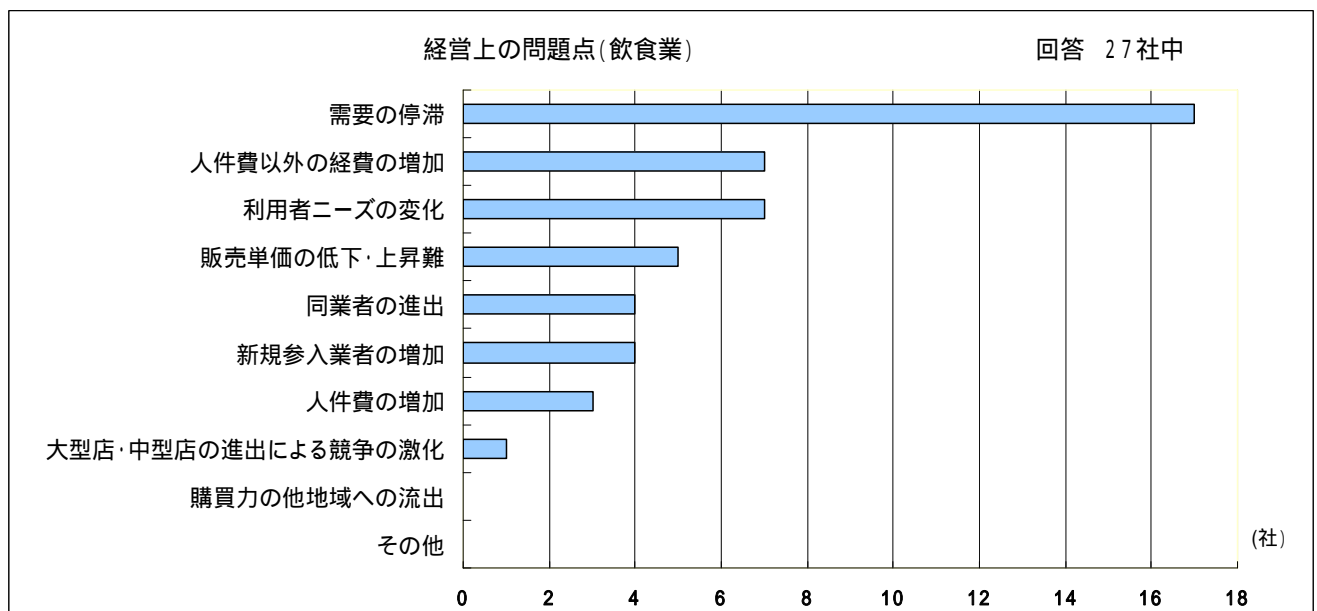
### 業況 DI

- ・業況判断 DI は +37.0 (前期比 +61.1 ポイント) とマイナスからプラスに大きく改善し、3 ヶ月先は +51.9 と改善の見通しです。
- ・売上 DI は +33.3 (前期比 +64.3 ポイント) とマイナスからプラスに大きく改善し、3 ヶ月先は +48.1 と改善の見通しです。
- ・資金繰り DI は +7.4 (前期比 +45.3 ポイント) とマイナスからプラスに大きく改善し、3 ヶ月先は +7.4 と横ばいの見通しです。
- ・採算 DI は +7.4 (前期比 +59.1 ポイント) とマイナスからプラスに大きく改善し、3 ヶ月先は +11.1 と改善の見通しです。
- ・従業員数 DI は +22.2 (前期比 +18.8 ポイント) と人手不足感が拡大し、3 ヶ月先は +29.6 と不足感がさらに拡大する見通しです。



設備投資の動向 設備投資件数は機械設備、車両運搬具、建物各 1 件です。

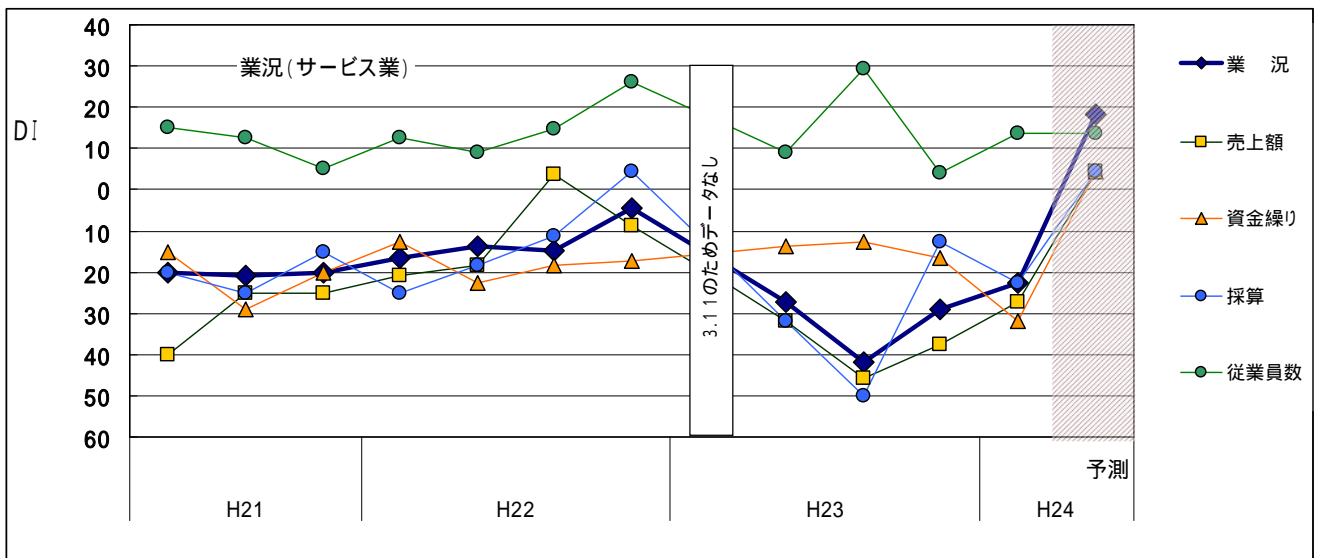
### 経営上の問題点



## 6. サービス業

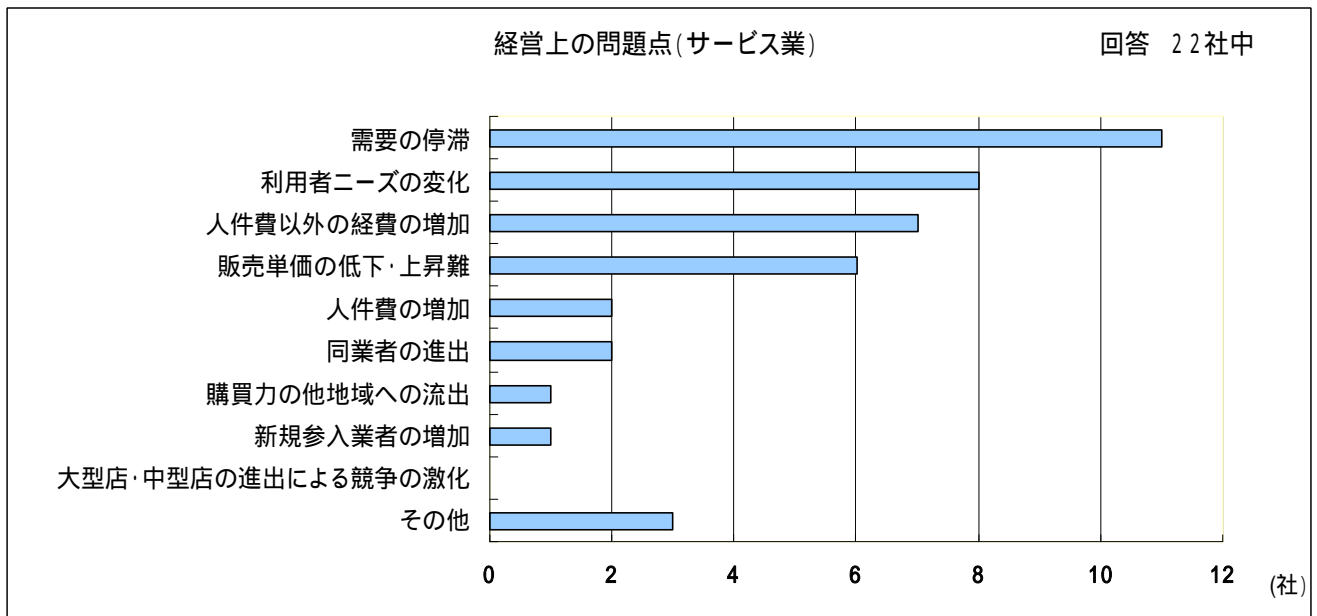
### 業況 DI

- ・業況判断 DI は 22.7 (前期比 +6.5 ポイント) とマイナス幅が縮小し、3 カ月先は +18.2 と改善の見通しです。
- ・売上 DI は 27.3 (前期比 +10.2 ポイント) とマイナス幅が縮小し、3 カ月先は +4.5 と改善の見通しです。
- ・資金繰り DI は 31.8 (前期比 15.1 ポイント) とマイナス幅が拡大し、3 カ月先は +4.5 と改善の見通しです。
- ・採算 DI は 22.7 (前期比 10.2 ポイント) とマイナス幅が拡大し、3 カ月先は +4.5 と改善の見通しです。
- ・従業員数 DI は +13.6 (前期比 +9.4 ポイント) と人手不足感が拡大し、3 ヶ月先は +13.6 と横ばいの見通しです。

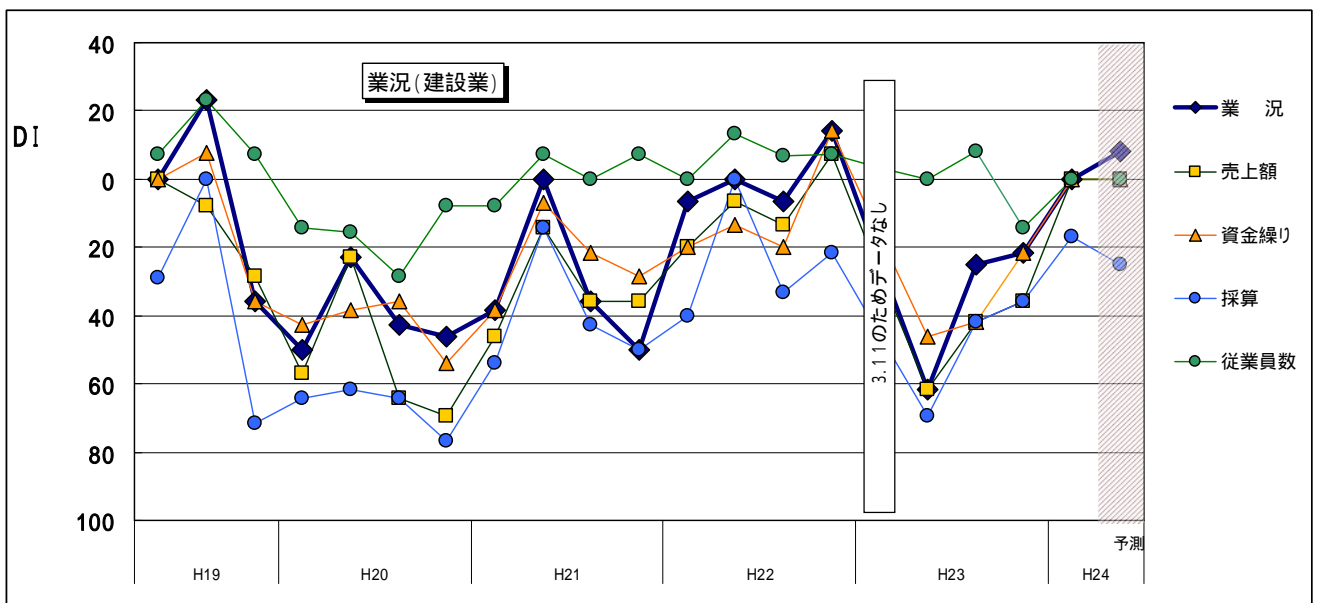
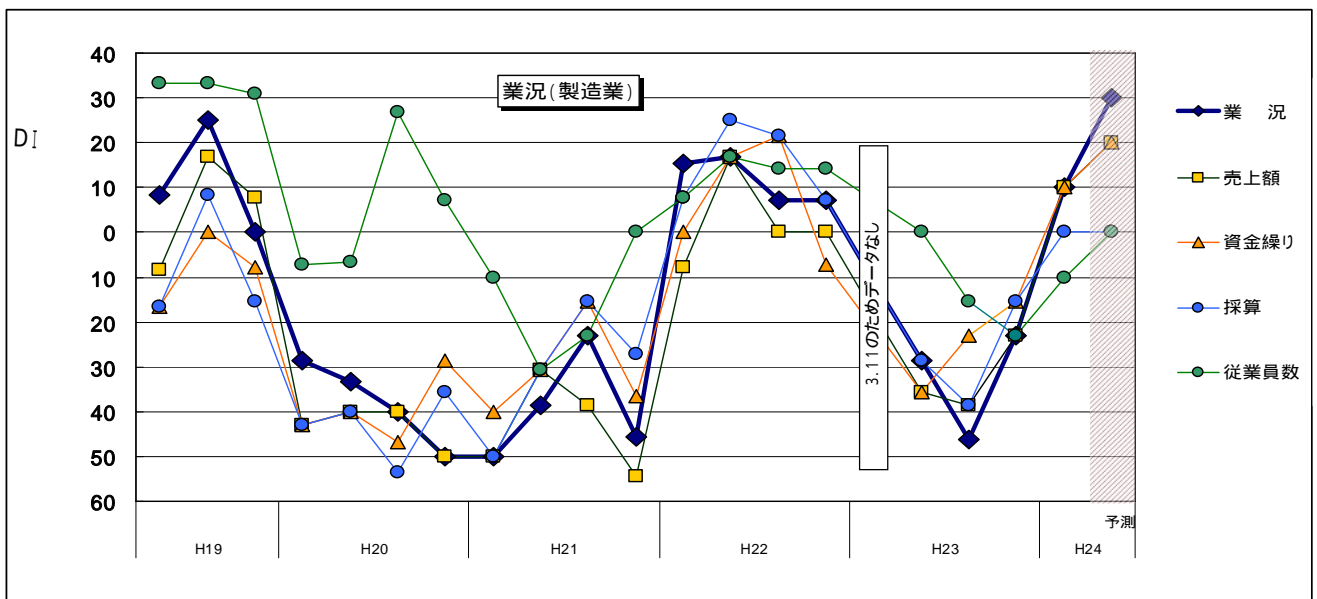
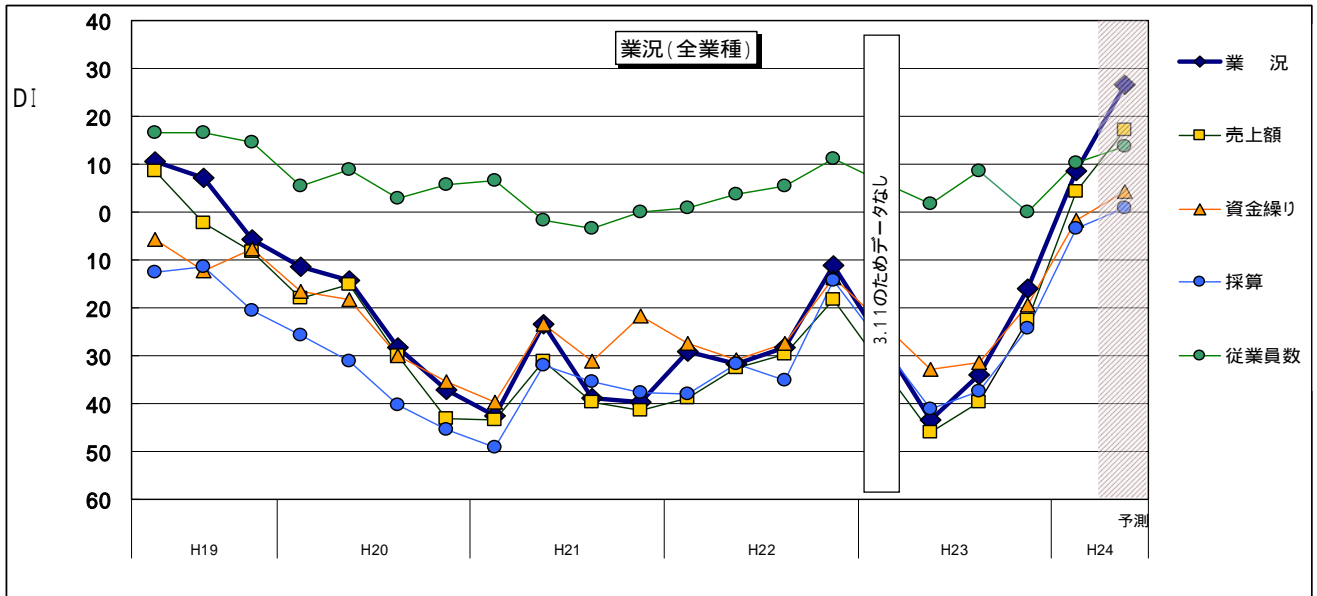


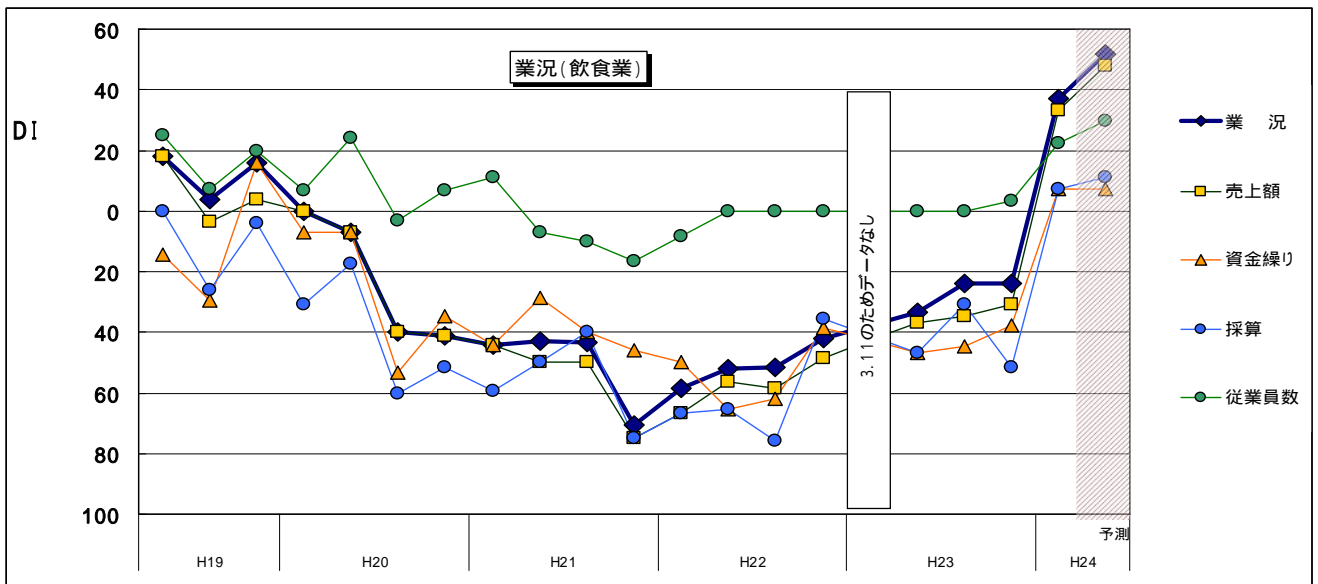
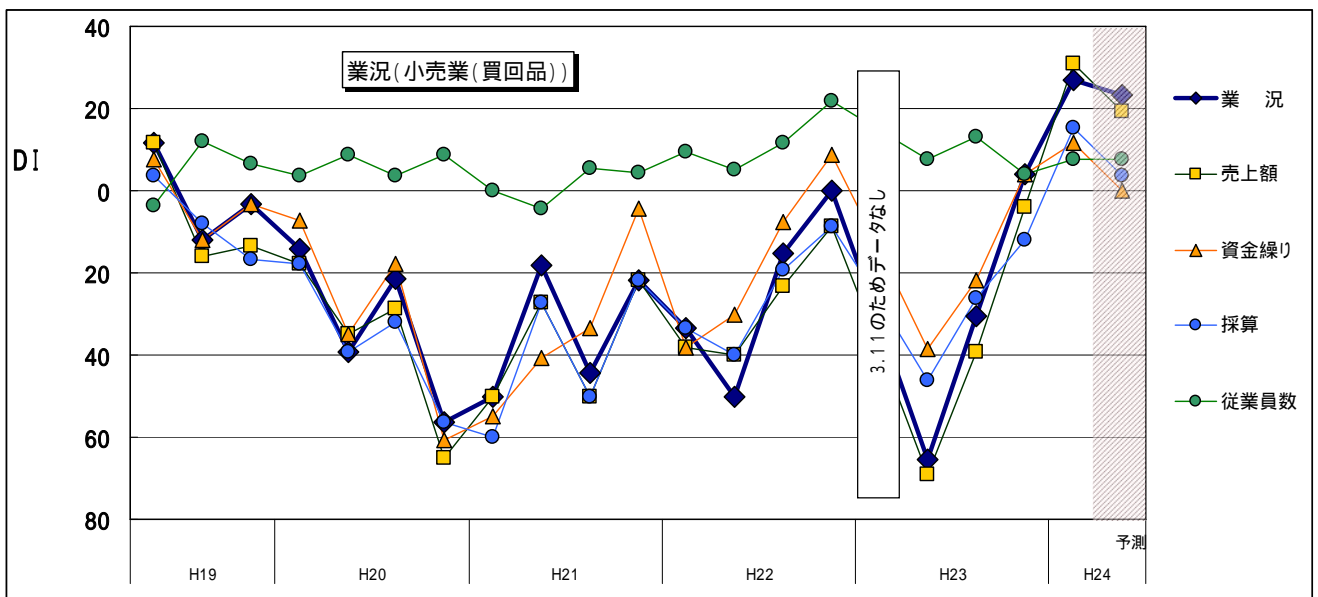
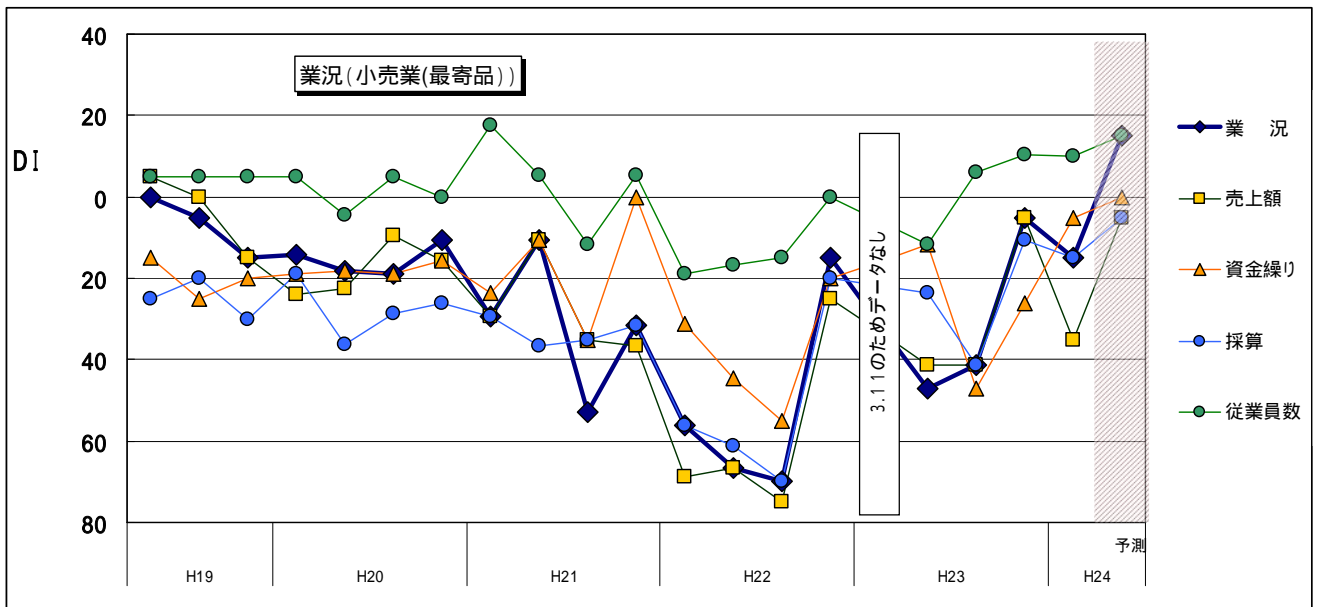
設備投資の動向 設備投資件はOA機器4件、建物、車両運搬具、機械設備各1件です。

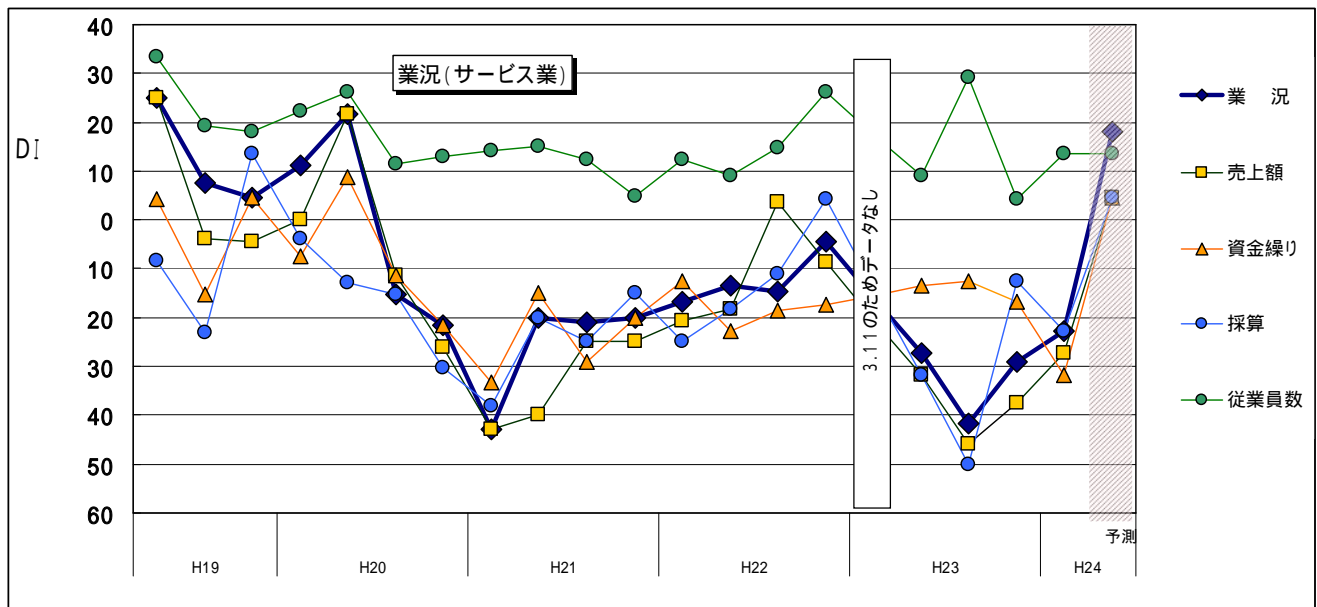
### 経営上の問題点



《資料》 5年分の推移







雑談コラム

日本の景気は、外需主導で回復しています。個人消費もやや持ち直しつつありますが、長引くデフレの影響で、小売業の店頭では価格競争が激化し、「安くなければモノが売れない」という声が聞かれます。物価下落は、企業の収益を圧迫し、特に中小小売業の経営に大きな痛手となっています。

一方で、大手ファーストフードでは、高価格帯の商品が売れています。同社の社長は「消費者は精神的に豊かになれるものを求めている」と新聞のインタビューで語っています。また、ある経済誌に、某中堅スーパーが、販売単価を順調に上昇させて増収増益との記事が掲載されました。このスーパーでは、商品部の人員を増員し、社員から集めた売れる商品のアイデアをリストにし、そのリストを持たせて世界中を飛び回らせて、こだわりぬいた商品を集めさせました。この商品は、量販店で通常売られる価格の約2倍の価格でも大変な人気商品となっているとのことです。

これら事例は、消費者は必ずしも低価格一辺倒ではないということを証明しています。値段が少々高くても、満足度や付加価値が高いと思う商品に消費者は手を伸ばします。付加価値のキーワードは、「こだわり」「個性」「専門性」に加え、「販売員のアドバイス」「販売員とのコミュニケーション」といった目に見えないサービスも含まれます。具体的には、「すべてのケーキが無難な洋菓子店」ではなく、「チーズケーキがとびきりおいしいケーキ店」というイメージです。安易に安売りに走ることなく、消費者の本当のニーズを捉えた商品・サービスを提供できれば、価格を適正な水準に保つことも可能でしょう。消費者が望んでいるのは「高い価値」であって、必ずしも「低い価格」だけではありません。

価格競争は体力勝負の消耗戦になるため、経営資源の豊富な大型店が有利となります。デフレ時代だからこそ、中小小売業は消費者が欲しがる高付加価値商品を扱う店を目指すことも必要です。それには不断の努力がかかせません。これからは「いかに安く売るか」ではなく、「いかに安く売らずにすむか」を考えた戦略をとってみてはいかがでしょうか。

(AS 中小企業診断士)

# 設備投資

全業種	H19			H20				H21				H22				H23				H24		予測	
OA機器	13	7	12	6	5	6	4	12	3	8	5	4	7	6	4	-	8	4	4	5	4		
機械設備	10	8	11	9	5	8	5	6	4	7	5	2	4	1	1	-	3	1	6	3	2		
車輛運搬具	9	7	6	5	3	4	7	2	7	4	6	1	3	6	1	-	3	4	3	5	4		
建物	3	6	4	6	3	5	2	1	2	1	2	1	1	4	3	-	3	5	4	7	4		
その他	2	1	2	3	1	2	3	3	1	1	3	0	1	2	1	-	3	3	0	0	0		

製造業	H19			H20				H21				H22				H23				H24		予測	
OA機器	2		2	2	1	1	1	2	1	1	2	1	1	2	1	-	2	1	0	0	0		
機械設備	1		1	2	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	-	0	1	1	1	1		
車輛運搬具		1		0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	-	1	0	1	0	0		
建物		1		1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	-	0	0	0	1	0		
その他			1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0		

建設業	H19			H20				H21				H22				H23				H24		予測	
OA機器	2	1	1	0	0	0	0	3	1	0	0	0	1	1	1	-	1	1	3	0	1		
機械設備	1		1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	-	0	0	1	0	0		
車輛運搬具	4	2	2	2	0	1	2	0	3	1	2	1	1	0	0	-	0	1	1	2	0		
建物	1	1		1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	1	1		
その他			1	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0		

小売業 (最寄品)	H19			H20				H21				H22				H23				H24		予測	
OA機器	3	2	3	2	1	1	1	1	1	0	1	1	1	0	1	-	0	0	0	1	0		
機械設備	3	1	2	1	1	3	0	1	1	1	1	0	1	0	1	-	0	0	2	0	0		
車輛運搬具	1	1	3	1	1	1	0	0	1	1	0	0	0	2	0	-	1	2	0	1	1		
建物			1	0	2	1	1	0	1	0	0	0	0	1	0	-	0	2	2	2	1		
その他				0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	-	0	1	0	0	0		

小売業 (買回品)	H19			H20				H21				H22				H23				H24		予測	
OA機器				0	0	1	1	0	0	1	1	1	2	0	0	-	1	1	1	0	1		
機械設備			1	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	-	0	0	0	0	0		
車輛運搬具				1	1	0	1	0	0	0	1	0	1	2	0	-	0	1	1	0	0		
建物	2		1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	-	1	1	0	1	0		
その他	2			0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	1	0	0	0	0		

飲食業	H19			H20				H21				H22				H23				H24		予測	
OA機器	2	1	1	0	0	1	0	1	0	2	1	1	1	0	1	-	1	0	0	0	0		
機械設備	4	6	5	5	4	3	2	3	2	2	1	0	3	0	0	-	2	0	2	1	1		
車輛運搬具	2	1		0	0	1	1	1	1	1	1	0	0	1	1	-	0	0	0	1	2		
建物		4	2	3	1	2	1	1	0	1	0	0	0	2	3	-	2	1	1	1	0		
その他				2	0	0	1	1	1	0	0	0	0	1	1	-	2	2	0	0	0		

サービス業	H19			H20				H21				H22				H23				H24		予測	
OA機器	4	3	5	2	3	2	1	5	0	4	0	0	1	3	0	-	3	1	0	4	2		
機械設備	1	1	1	0	0	1	2	1	1	3	2	0	0	0	0	-	1	0	0	1	0		
車輛運搬具	2	2	1	1	1	1	2	1	2	1	1	0	1	1	0	-	1	0	0	1	1		
建物				0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	-	0	1	1	1	2		
その他				0	1	1	0	2	0	1	1	0	1	1	0	-	0	0	0	0	0		

以上